

インディードゥアイガン ยินดีดอัยกัน

...so that may be glad together. (John 3:16)

YD は、タイ語で「ともに喜びのため」を意味する単語の頭文字です

タイ王国チェンマイ日本語キリスト教会を通してのタイ宣教

YD ミニストリー ニュースレター # 9

2019年 夏号



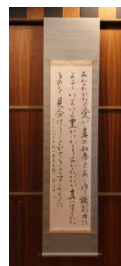
神のなさることは、すべて時にかなって美しい…… 伝道者 3:11

宣教の主にあって、お祈りとご支援を心より感謝いたします。今年のチェンマイは雨季になっても 40℃近い うだるような暑さが続いています。健康が守られており、感謝です。

5月に母が急逝し、文字通り天国が実家となりました。肉親と神の家族の助けと励ましをいただいて葬儀と残してきた自分の荷物・母の遺品の整理を終え、冒頭のみことばを噛みしめています。チェンマイに遣わされて間もなく2年。その間、教会内でも日本におられる親御さんを亡くされた方が3名おられました。その経験から、帰国用チケットの購入、留守中の集会準備まで、家族として寄り添ってくださった教会の兄姉。礼拝メッセージを引き受けてくださった日本人宣教師の方々。病身をおして葬儀に駆けつけてくださった前任者の野尻先生ご夫妻……。チェンマイに戻る際、「『行く』という思いなのか、『帰る』という思いなのか」とある方に問われ、改めてチェンマイに『帰る』という思いであることを確認させられました。日本にもチェンマイにも、心から家族と呼べる交わりが与えられていることを主に感謝しています。母を最も信頼できる方の御手にお委ねした圧倒的な平安をもって再始動です。

チェンマイでは、新たな宣教協力の機会が待っていました。現在、日本語教会は皆で集える会堂を祈り求めています。今年の1月、教会に訪問者がありました。日本語教会の前身となった日本語集会を導いてくださった宣教師を派遣

しておられた教団の方です。元宣教師館を用いて、山岳民族宣教の次のステップを踏みたいが、ボランティアとして協力してもらえないか、ということでした。カレン族の若者の就職と自立を助けるための平日の日本語教室です。主日には会堂として無料で使っていただいてもよい、とのお申し出に、この6月、見学へ赴いたのです。残念ながら、会堂としては位置と広さに課題がありました。しかし、私の住まいにどうか、という新たなご提案をいただき、みこころならば、と祈っております。「時く者と刈る者がともに喜びのため」とのみことばをもって遣わされたチェンマイ。この地で、主の時にかなった美しいみわざに参与し続けていけますようお祈りください。



主のしもべであった母の書



カレン族の神学校内にある元宣教師館

< 祈禱課題 >

- ・10月から新たに計画されている日本語教室を通しての宣教協力と、会堂、住まいについて、ふさわしい導きと決断を得られるように
- ・タイ人と結婚された日本人女性たち、その子どもたちへの適切な福音伝達と、ご主人へのアプローチのために。2名の受洗希望者の学びの祝福のために
- ・チェンマイでの牧会と宣教を継続するための力と必要が備えられるように

< 支援窓口 >

YD ミニストリー支援会 郵便振替 00870-6-154230
支援会お問合せ先 shimoyamada@mishimagrace.com
電話 Fax 055-989-7802
ホームページ <http://www.yd-ministry.christian.jp/>

(「YD ミニストリー」で ご検索いただいても ご覧いただけます)
日本同盟基督教団事務所 郵便振替 00120-5-142886
(事務所宛は、長谷部愛実への指定献金のみ、ミニストリーに献げられます)